

所属・資格 中国語中国文化学科・教授

申請者氏名 平井 和之

研究課題		初～中級中国語教材の編纂
報告の概要	研究目的 および 研究概要	拙著「中国語初級テキスト補助教材」(2009年)に継ぐ「中国語初級テキスト補助教材(改訂版)」(2015年)において、ある程度中級段階の学習事項を取り入れたが、今年度はさらに改訂を行い、中級までの文法事項をカバーするテキストを作成する。
	研究の結果	「中国語初級テキスト補助教材(改訂版)」までは、口語文法を学習するという趣旨で編纂を続けてきたが、中級段階ではある程度文章語の文法も射程に入れざるを得ない。そのため(口語では使用頻度が高くないが)、文章語に典型的に見られる、接続詞を用いた複文の紹介と習得を目的とした例文と練習問題からなる課を新たに導入した。導入した複文の意味パターンは、逆接・因果・累加・取捨・仮定・譲歩である。また、複文ではないが、やはり文章語に多く用いられる、文頭に長い前置詞句を用いるパターンも導入した。また、主要には口語に用いられる文法事項として結果補語相当の“了”に関する項目を新たに導入した。 以上の諸点を増修訂し、「中国語初級テキスト補助教材(新訂版)」を作成した。
	研究の考察・反省	中級文法項目は以上にとどまるものではなく、(複文を用いない)因果関係や、目的を表す様々な表現、変化量の表し方、縮約文・連鎖文、感嘆文、(授与以外の)二重目的語文、形容詞による命令表現、形容詞の偏差を表す“了”、程度を表す補語等々、多く挙げられるが、これらの項目についても例文・練習問題を作成した。但し今回の新訂版には総授業時間数との兼ね合いで収録しなかった。今後はこれらを簡潔にまとめてテキストに取り込んでいきたい。 今一つの問題点として、現行の「日本語の短文を中国語に訳す」という形式では出題が難しい同義・近義パターンの処理が挙げられる。例えば「映画を見に行く」だけでは“去看电影”とも“看电影去”とも訳せるであろう。また「4年間中国語を学んだ」は“学了四年(的)中文”とも“学中文学了四年”とも訳せるであろう。これらは単独の短文を与えるだけではいずれとも決定しがたく、一定の文脈を与えてその中で適当な訳を考えさせることが必要である。しかしこれを作文の形式で学ぶのは困難であり、どうしても読解に依らざるを得ない。一方、文法学習に特化した読解教材の編集も同じく困難であり、そうである以上、今後は作文の授業と読解の授業の合理的な役割分担が求められることになる。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	中国語教育学会第1回研究会 《现代汉语词典》儿化音表的音素表記試案 2018年9月29日(土)/日本大学文理学部	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	『中国語初級テキスト 補助教材』新訂版 2018年9月1日 日本大学文理学部	
		※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。